

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
51101	無限の可能性開発講座 Developing Communication & Social Skills	全教員		基礎	1	必修	1年前期

科目の概要

一人ひとりの潜在能力を可能性の限界まで引き出せるよう、本学が教育の一環として取り組んでいる「社会人基礎力」を育成する。実際に子どもにかかわる実践演習などを通して、保育者としての知識や技術を身につける。全学生を小グループに分けて各教員がゼミ形式で担当し、学生生活や学習活動の支援を行い、保育者を志す人としての人間形成の礎を築く。

学修内容	到達目標
社会人基礎力についての理解を深め活用する。 授業に積極的に参加し、社会人基礎力の12の能力要素を発揮する。 保育者として必要な知識や技能、立ち振る舞いを身に付ける。 学生同士や教員との信頼関係の基礎を築く。	社会人基礎力とは何かが理解できる。 社会人基礎力の12の能力要素を十分に発揮できる。 保育者として必要な知識や技能、立ち振る舞いを習得できる。 学生同士やと教員との信頼関係を築くことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す 力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。
	働きかけ力	グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。
	実行力	子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。
考え抜く 力	課題発見力	保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。
	計画力	授業の予習復習において、計画的に学修を進めることができる。
	創造力	与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。
チームで働く 力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、建設的な働きかけができる。
	状況把握力	周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。
	規律性	集団でのルールやマナーを守ることができる。 無断欠席、遅刻、私語など授業に支障をきたす行動をしない。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を客観的に分析し、これを克服することで、自分が成長できると捉えることができる。

テキスト及び参考文献

特になし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：系列ごとの各専門科目や学外実習などすべての科目において関連性がある。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ゼミ形式で行う内容が多いため、各学生が積極的に参加し、学生自ら社会人基礎力の能力要素が身に付くよう努力することが望まれる。 気がついたことは、何でもノートや資料にメモすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ゼミ学生相互の努力と円滑なコミュニケーションが必要になる。他者への真心と感謝をもって心を持って受講してほしい。 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験		①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト		①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	40	①	✓	課題1「新入生歓迎会を終えての感想とあなたの『チームで働く力』についての課題」 課題2「社会人基礎力についての講義を受けての感想と社会人・保育者としてどうあるべきか」 課題3「ゼミ企画と実践を終えての感想とあなたの社会人基礎力の課題」 課題4「社会人基礎力についての自己評価と今後の課題」 各10点
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	50	①	✓	・子どもを楽しませる術の実践「絵本、紙芝居、折り紙」の発表 ・ゼミ企画「チームで働く力を高める」の企画案の作成・発表 ・ゼミ企画「チームで働く力を高める」の実践 ・与えられた課題に対し積極的に取り組んでいるか評価する。 ・準備作業やグループワークにおいて、周囲の状況に配慮した取り組みができるか評価する。 各10点		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
		⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。(主体性) ・子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。(実行力) ・保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。(課題発見力) ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。(創造力) ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。(発信力) ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。(傾聴力) ・欠席する場合は事前に連絡をし、フォローレポートの提出ができる。(規律性)	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤			
総合評価 割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・社会人基礎力の12の能力要素を理解し、この能力を十分に習得し、必要に状況に応じて活用でき、保育者として必要な基本的な知識や技能、立ち振る舞いを習得し、それを実践的に応用できる。 総合評価90点以上S(秀)、89~80点A(優)</p>	<p>・社会人基礎力の12の能力要素を理解し発揮できる、保育者として必要な基本的な知識や技能、立ち振る舞いを習得できている。 総合評価79~70点B(良)、69~60点C(可)</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・全体オリエンテーション ・クラス・ゼミ別オリエンテーション	演習 全体 クラス別グループ ディスカッション 社会人基礎力振り返り	授業内容とその目的が理解できる。クラスでの討議に積極的参加できる。	(予習)キャンパスライフを熟読しておく。 (復習)社会人基礎力について見直しをする。	60	主体性
2週 /	知識を活用し問題を解決する力と自己の行動特性を認識する。 ジェネリックスキルテストを実施する。	演習 結果を提示する	ジェネリックスキルテストを真剣にとりくむことができる。	(予習)社会人基礎力を育む学泉ノートを熟読しておく。 (復習)自分の参加時の振り返りをする。	60	主体性 実行力
3週 /	チームで働く力を高める ・1・2年生合同ゼミ	演習、実技 実技についての相互評価 本日の参加態度を社会人基礎力をもとに振り返りレポート作成する。	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(予習)チームで働く力を発揮するにはどうするかを考えておく。 (復習)レポートを作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	チームで働く力を高める ・1・2年生合同ゼミ	演習、実技 実技についての相互評価 本日の参加態度を社会人基礎力をもとに振り返りレポート作成する。	学生・教員と相互の交流を積極的に行うことができる。	(予習)チームで働く力を発揮するにはどうするかを考えておく。 (復習)レポートを作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	社会人基礎力とはなにかを学ぶ	講義(全体) 社会人基礎力についてグループディスカッションをする。	社会人基礎力について理解を深めることができる。	(予習)シラバスを熟読しておく。 (復習)レポートを作成する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	リテラシーとコンピテンシーを学ぶ	全体セッション	リテラシーとコンピテンシーの自己分析結果を見て今後の課題を見つける。	(復習)自己分析結果を見て今後の課題を見つけ実践するためにはどうするのかを考える。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	個人面談 を実施する。	個人面談	学習面・生活面・将来の方向性など教員と深めることができる。	(予習)前半の面談課題について振り返る。 (復習)面談を振り返る。	60	主体性 発信力 傾聴力
8週 /	子どもを楽しませる術を学ぶ。 「絵本、紙芝居、手遊び」	演習 全体 社会人基礎力振り返り	具体的な課題に対し自らの力で取組み今後の課題を発見することができる。	(予習)選択したものをくり返し練習をする。 (復習)授業後の振り返りを行い記録する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	社会人としてのマナー講座	演習 全体 社会人基礎力振り返り	マナー講座から実習や学外活動の心得を習得できる。	(予習) 選択したものをくり返し練習をする。 (復習) 授業後の振り返りを行い記録する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	子どもを楽しませる術の実践。 「絵本、紙芝居、手遊び」のプレゼンテーション	ゼミ別演習、実技 実技についての相互評価 活動の社会人基礎力について振り返り	実践課題に対し自らの力で取組み、披露することができる。	(予習) 発表課題を準備、練習してくる。 (復習) 授業後の振り返りを行い記録する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	子どもを楽しませる術の実践。 「絵本、紙芝居、手遊び」のプレゼンテーション	ゼミ別演習、実技 実技についての相互評価 活動の社会人基礎力について振り返り	実践課題に対し自らの力で取組み、披露することができる。	(予習) 発表課題を準備、練習してくる。 (復習) 授業後の振り返りを行い記録する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	子どもを楽しませる術の実践。 「絵本、紙芝居、手遊び」のプレゼンテーション	ゼミ別演習、実技 実技についての相互評価 活動の社会人基礎力について振り返り	実践課題に対し自らの力で取組み、披露することができる。	(予習) 発表課題を準備、練習してくる。 (復習) 授業後の振り返りを行い記録する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	ゼミで企画しチームで働く力を高める活動を実践計画をたてる。	演習、実技 ゼミ別 実技についての相互評価 企画に対しての社会人基礎力振り返り	ゼミの企画を実践することができる。	(予習) ゼミ企画に対しての自分の考えを用意する。 (復習) ゼミ企画の実践に向けて準備する。	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14週 /	社会人基礎力の能力要素を高めるゼミ別活動を実践する。	ゼミ別演習、実技 実技についての相互評価 社会人基礎力振り返りを行い記録する。	ゼミごとに半期の振り返りと後期に向けてのチーム作りを行うことができる。	(予習) 自分の役割を把握し活動がスムーズに進行するかを考える。 (復習) レポートを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	個人面談 を実施する。	演習 ゼミ別 社会人基礎力振り返り	学習面・生活面・将来の方向性など後期に向け課題を発見することができる。	(予習) 今までの活動を振り返り自己評価する。 (復習) レポートを作成する。	60	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
51102	無限の可能性開発講座 Developing Communication & Social Skills	全教員		基礎	1	必修	1年後期

科目の概要

無限の可能性開発講座 で習得した社会人基礎力の能力を更に高め、人ひとりの潜在能力を引き出す。実際に子どもにかかわる実践演習などを通して、保育者としての知識や技術を身につける。全学生を小グループに分けて各教員がゼミ形式で担当し、学生生活や学習活動の支援を行い、保育者を志す人としての人間形成の礎を築く。

学修内容	到達目標
社会人基礎力について十分に理解を深め活用する。 実技演習課題において社会人基礎力の12の能力要素を意識して活用する。 保育者として必要な知識や技能、立ち振る舞いを身に付けた学生生活を送る。 学生同士やと教員との信頼関係の基礎を築き協働する。	社会人基礎力とは何かが十分に理解し意識して活用できる。 社会人基礎力の12の能力要素を十分に発揮して参加することができる。 保育者として必要な知識や技能、立ち振る舞いを習得して学生生活を送ることができる。 学生同士やと教員との信頼関係を築き協働することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自己の課題を認識し、自発的に学修を取り組むことができる。
	働きかけ力	グループ活動において、他者の意欲が高まるような積極的な働きかけができる。
	実行力	子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。
	計画力	授業の予習復習において、計画的に学修を進めることができる。
	創造力	与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。
チームで働く力	発信力	グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。
	傾聴力	他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、建設的な働きかけができる。
	状況把握力	周囲の状況に配慮した適切な行動ができる。
	規律性	集団でのルールやマナーを守ることができ、無断欠席、遅刻、私語など授業に支障をきたす行動をしない。
	ストレスコントロール力	ストレスの原因を客観的に分析し、これを克服することで、自分が成長できると捉えることができる。

テキスト及び参考文献

特になし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：系列ごとの各専門科目や学外実習などすべての科目において関連性がある。
資格との関連はないが、修得し身につけることによって資格により相応しい人格者となる。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ形式で行う内容が多いため、各学生が積極的に参加し、学生自ら社会人基礎力の能力要素が身に付くよう努力することが望まれる。 ・気がついたことは、何でもノートや資料にメモすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミ学生相互の努力と円滑なコミュニケーションが必要になる。他者への真心と感謝をもって心を持って受講してほしい。 ・出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記(レポート含む)・ 実技・口述 試験		①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト		①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	45	①		✓	課題1「園児とのいもほり実践の感想と自己課題」 課題2「社会人・保育者としての責務」 課題3「ゼミナール中間報告会についての感想」 課題4「園児とのかかわり実践についての感想と自己課題」 課題5「『学びの泉』グランプリで学んだこと」 ・保育者として必要な基礎力の要素を中心にレポート作成し、 各ゼミ教員が添削を行い文章表現力も高める。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤			
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	45	①	✓	・個人プレゼンテーションを評価する。 ・指導案作成発表「子どもたちとの関わり実践指導案」とその実践を評価する。 ・与えられた課題に対し積極的に取り組んでいるか評価する。 ・準備作業やグループワークにおいて、周囲の状況に配慮した取り組みができるか評価する。			
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤					
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	・自己の課題を認識し、自発的に学修に取り組むことができる。(主体性) ・子どもたちとの関わり実践において、その準備と活動に対し粘り強く取り組むことができる。(実行力) ・保育者として子どもへ関わりや支援の方法についての問題点を認識できる。(課題発見力) ・与えられた課題に取り組み、それをどのように応用し発展させるかを創造できる。(創造力) ・グループ活動において、自分の役割を自覚し、自分の考えを分かり易く相手に伝えることができる。(発信力) ・他者の意見を尊重し、聞き入れることができる。(傾聴力) ・(フォローレポート)欠席の連絡やフォローレポートの提出ができる(規律性)		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・社会人基礎力の12の能力要素を理解し、この能力を十分に習得し、必要に状況に応じて活用でき、保育者として必要な基本的な知識や技能、立ち振る舞いを習得し、それを実践的に応用できる。 総合評価90点以上S(秀)、89~80点A(優)</p>	<p>・社会人基礎力の12の能力要素を理解し発揮できる、保育者として必要な基本的な知識や技能、立ち振る舞いを習得できている。 総合評価79~70点B(良)、69~60点C(可)</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション	全体及びゼミ形式による演習 本日の社会人基礎力振り返り	授業内容とその目的が理解できる。 クラスでの討議に積極的参加できる。	(予習)社会人基礎力を育む学泉ノートを再読する。	60	主体性
2週 /	社会人としての責務、自己の役割を明確にすることについて学ぶ。	講義、演習(全体) 本日の社会人基礎力振り返り	社会人としての責務、自己の役割を明確にすることができる。	(復習)レポートを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3週 /	個人プレゼンテーション 各自でテーマを決めて、発表する。	演習、実技 ゼミ別 実技についての相互評価についてディスカッションする。 本日の社会人基礎力振り返り	プレゼンテーションをすることができる。	(予習)個人プレゼンテーションの発表準備をしておく。	90	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	園児たちとのかかわり実践 園児といもほりを行う。	演習、実技 全体 レポートによる振り返り	いもほりを通して園児と積極的に関わることができる。	(予習)いもほり活動の実践を考えてくる。	90	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	園児たちとのかかわり実践 園児といもほりを行う。	演習、実技 全体 レポートによる振り返り	いもほりを通して園児と積極的に関わることができる。	(予習)いもほり活動の実践を考えてくる。 (復習)レポートを作成する。	120	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	幼児学ゼミナール中間報告会	演習 全体 レポートによる振り返り	ゼミナールについて理解できる。	(復習)レポートを作成する。	75	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	園児たちとのかかわり実践 ゼミ毎に子どもたちとの関わり実践の企画立案と準備を行う。	演習、実技 ゼミ別 グループディスカッション 本日の振り返りをする	園児たちとのかかわり実践の企画立案と準備を積極的に行う。	(予習)園児と関わり実践の企画を考案する。 (復習)授業後の振り返りを行い記録する。	90	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	園児たちとのかかわり実践 ゼミ毎に子どもたちとの関わり実践の企画立案と準備を行う。	演習、実技 ゼミ別 グループディスカッション	園児たちとのかかわり実践の企画立案と準備を積極的に行う。	(復習)授業後の振り返りを行い記録する。	90	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	園児たちとのかかわり実践 ゼミ毎に子どもたちとの関わり実践を行う。	演習、実技 ゼミ別 実践についての相互評価	園児たちとのかかわり実践を積極的に参加できる。	(予習)自分の役割を意識しシミュレーションしておく。	90	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	園児たちとのかかわり実践 ゼミ毎に子どもたちとの関わり実践を行う。	演習、実技 ゼミ別 実践についての相互評価	園児たちとのかかわり実践を積極的に参加できる。	(予習)自分の役割を意識しシミュレーションしておく。 (復習)レポートを作成する。	120	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	「学びの泉」グランプリに参加し、四大精神・社会人基礎力・pisa型学力について理解を深める。	講義、演習 全体	四大精神・社会人基礎力・pisa型学力について理解を深めることができる。	(復習)レポートを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12週 /	2年生による研究保育報告会 保育現場での具体的な実践活動について学ぶ。	演習 ゼミ別 グループディスカッション	保育現場での具体的な実践活動の方法が理解できる。	(復習)授業後の振り返りを行い記録する。	90	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	個人面談 を実施する。	演習 ゼミ別 社会人基礎力振り返り	学習面・生活面・将来の方向性について教員と深めることができる。	(予習)今までの活動を振り返り自己評価する。 (復習)面談を振り返る。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
14週 /	無限の可能性開発講座 とを振り返り、社会人基礎力修得と保育者としての個々の課題を理解する。	演習 ゼミ別 相互評価	社会人基礎力修得と保育者としての個々の課題を理解することができる。	(復習)授業後の振り返りを行い記録する。	90	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	幼児学ゼミナール報告会	演習 全体 レポートによる振り返り	ゼミナールについて理解できる。	(復習)レポートを作成する。	75	主体性 実行力 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力